

環境学習みえ

2016年9月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／前列左から2番目:小林一貴氏(三重西しろやまを愛する会「しろやま倶楽部」代表)と「しろやま倶楽部」のみなさん
2016 No.66

秋

人と自然をつなげよう！
～しろやま倶楽部の活動～



人と自然をつなげよう! ～しろやま俱楽部の活動～



かつての豊かな自然を取り戻し、そして、人と自然との結びつきを育むために、四日市市にある三重城山緑地を中心に活動している市民団体、三重西里山を愛する会「しろやま俱楽部」をご紹介します。地域に溶け込んだ「しろやま俱楽部」の活動は、私たちの身近にある里山に親しみ、里山に興味を持ち、里山のために自ら行動する人づくりに力を入れた活動でもあります。

三重城山緑地と 「しろやま俱楽部」

三重城山緑地は、四日市市の三重地区にあり、三重団地開発時に、およそ一万平方メートルの丘陵地が住民に親しまれる公園として整備された場所です。この地は室町時代の城跡であり、標高78mの中央最高部は本丸（一の丸）といわれ、二の丸（南端）と三の丸（西南端）と思われる小区域には、まだ当時の土塁が残っています。

文化遺産を残しつつ、地域の人々の憩いの場所として整備された当時は、手入れが行き届いた公園だったようです。しかし、時間が経つにつれ、次第に放置されるようになり、モウソウチクに覆われてしましました。地元の人は、荒れて暗く閉ざされた三重城山緑地に怖くて近付けず、子どもたちには、「行つてはいけない」と言わなければならぬ場所になっていたそうです。

そのような状況で迎えた平成15年、三重西小学校の5年生が総合学習の一環として三重城山緑地の整備に着手し、自然教室で習った道具を使って竹を切り始めたのです。

発足から12年目を迎えた三重西里山を愛する会「しろやま俱楽部」。身近にある里山とかかわりながら、人と自然との結びつきを育む活動をご紹介します。

【お話を伺った人】



三重西里山を愛する会
『しろやま俱楽部』

代表 小林 一貫さん

趣味の炭焼きが縁で『しろやま俱楽部』の活動に参加。

三重西小学校のコミュニティ・スクール運営委員も務めています。



三の丸と思われる区域に設置された『西坂部城跡』説明板。(現在は調査が進み、『坂部城跡』と称されている。)

17年、地域で何とかしようと、自治会を通して集まつた方が、三重西里山を愛する会「しろやま俱楽部」を発足させ、活動を始めました。

スタート当初は50名足らずだったメンバーも、現在は85名となり、7月から9月を除き、毎週土曜日に活動しています。また、三重城山緑地

何とかしよう!!

長い間人手が入らず、竹や雑木が密集し、荒れ果てた山でした。

倒れた木を整理し、枯れた木から切つていきましたが、一番手を焼いたのはモウソウチク。タケノコから一年も経てば、大きな竹に成長してしまいます。タケノコを見つけたら、蹴飛ばしても増やさないようにしてきました。

今では道が整備されて登り易くなり、頂上の木々の間からは伊勢湾や、晴れた日には伊吹山が見えるようになりました。街灯や遊具も使えるようになり、夜でも散歩に行けるほどです。

また、お正月には初日の出を迎えるために、100人の人が集まつてくる、地域の大切な場所になりました。



Before

平成 17 年頃
荒れた『しろやま』

After

平成 28 年 8 月
よみがえった活力ある森



竹炭づくり

最大の敵！モウソウチクを味方につけて



たき口と煙突以外を密閉して 50 時間くらい火を入れる。



窯の中に竹を立てて、ぎっしり詰め込む。



竹を伐採して下準備。1mの長さに切って、節に穴をあけ、2～3ヶ月乾燥させる。



でき具合をチェック。うまくいったり、いかなかったり。毎回同じようにはいかない。むずかしいところがおもしろい。



煙の色がねずみ色から空色になると、たき口や煙突もふさいで密閉状態にして鎮火。



1週間ほどゆっくり冷ましたらでき上がり。窯出しは、全身真っ黒！炭だらけになる。



たくさんできた竹炭。地域の人たちにも使ってもらおう。



竹炭アート。焼き上がりの様々な形がいきている。

炭焼き人 しろやま俱楽部

切り出した多数の竹は処分しなければなりません。何かうまく利用できないものかと考え、小林代表が趣味としていた竹炭づくりにみんなで取り組んでいます。

三重城山緑地で下準備をし、その後、いなべ市の宇賀渓へと運び、借りている窯で焼きます。

竹炭は、多孔質で水分や臭いの原因となる物質の吸着力に長けており、消臭や湿度調整、土壌改良にも効果を発揮する優れものです。



育て！こころの芽

「しろやま俱楽部」は地元の三重西幼稚園や三重西小学校と、活動開始当初から絶えることなく連携し、子どもたちと一緒にになって活動してきました。

七夕には幼稚園と小学校に竹を提供し、一緒に飾りつけをします。

小学校では、3年生、5年生、6年生と活動を共にしています。

3年生では一緒に七輪で火をおこし、もち焼きをします。5年生になると、一学期に教室で、地域の人々が『しろやま』と呼ぶ三重城山緑地の歴史や保全活動についてお話を聞き、二学期には『しろやま』で竹伐採体験と、落葉や竹炭を使った焼きいも大会をします。そして6年生では『しろやま』に記念樹を植え、小学校を卒業していきます。



みんなで書いた五色の短冊。笹につけて、願いごとがかないますように!!
(三重西幼稚園)



【植樹】

植えた木に名札をつけるのも子どもたちへの意識付けのひとつ。

共に活動して行くうちに、5年生の一学期が終わる頃には、子どもたちに自己が生まれ、竹伐採体験をする頃には、自分ができる仕事はないかと、進んで探し始めるようになってくるそうです。

小林さん「竹や木を運ぶ大変さを体験しながらも、『しろやま』で見た景色や空気を忘れないでほしい。将来この里山を見て、今の気持ちを思い出してほしい。自分で考え行動する気持ちが芽生え、大きく育ってほしいと願うばかりです。」



座学『しろやま』 質疑応答「城跡から財宝は出てきたんですか?」「何にも見つからんだんや。」(三重西小学校)



伐採するのは目印の紐がむすんである竹。太い竹でも切り倒せるよ。

まずは自然教室で覚えたのこぎりの使い方を復習。
準備完了。さあ、行こう!

道具を揃えて保全体験に臨む。
作業の説明や注意することを
しっかり聞いて、気を引き締める。



最後は、集めた落ち葉や竹炭も入れて、
焼きいも大会。ホクホク!!

しろやま俱楽部と三重西小学生の共同作業。みんなで力を合わせて、よいしょ！よいしょ！
竹を運ぶのは大変だ。助けて助けられてみんなでやりきった竹伐採。

工作教室 『しろやま』産の竹でつくろう



できた!



市民センターや幼稚園で行っているミニ門松作りは、毎年大好評です。

「しろやま俱楽部」はモウソウチクに覆われた『しろやま』を前に、かつての豊かな自然を取り戻したいと、現存の木々は保全したまま、枯れ木を整理してきました。一度荒れてしまつた里山を元の姿に戻すまでは多くの人手がかかり、時間もかかりてしまいます。それでも未来を担う子どもたちや地域の人々に森林や環境への理解を深めてもらうことで、身近な自然、身近な里山を地域みんなで守つていきたいと活動を続けてきました。

学校や地域の公民館などで門松づくりなどの工作教室をしたり、お祭りに出演しては竹炭を配ったり、地域の方々とのかかわりに多くの時間をかけてきました。そして、今までに約7000個の球根を植え、1500本ほどの植樹もして緑を増やしてきました。その甲斐あって、近頃では四季の花が『しろやま』を彩るようになり、訪れる人の目を楽しませてくれます。

こうした「しろやま俱楽部」の活動により、人が自然にふれる機会が増え、また、自然に近づいた人がさらに人を誘つて自然に近づいてくるようになりました。「しろやま俱楽部」が広げた人の輪が、子どもたちの放課後の遊び場、家族での虫とり、散歩や休憩などなど、「しろやま」に足を運ぶ人を増やしてきたのです。

「1年でもほつたらかしにしたら、あつという間にもとの荒廃した『しろやま』になつ

たまま、枯れ木を整理してきました。一度荒れてしまつた里山を元の姿に戻すまでは多くの人手がかかり、時間もかかりてしまいます。それでも未来を担う子どもたちや地域の人々に森林や環境への理解を深めてもらうことで、身近な自然、身近な里山を地域みんなで守つていきたいと活動を続けてきました。

学校や地域の公民館などで門松づくりなどの工作教室をしたり、お祭りに出演しては竹炭を配ったり、地域の方々とのかかわりに多くの時間をかけてきました。そして、今までに約7000個の球根を植え、1500本ほどの植樹もして緑を増やしてきました。その甲斐あって、近頃では四季の花が『しろやま』を彩るようになり、訪れる人の目を楽しませてくれます。

「今日はどこで遊んできたん?」

ご家族に報告している子どもたちの姿が目に浮かびます。

みんなの身近な自然はどのようになっていますか。そこにも一生懸命活動している方がいらっしゃるかも知れませんね。未来の子どもたちへ地域の自然を贈る活動に、みなさんも参加してみませんか。



平成28年8月 三重城山緑地

写真提供

三重西里山を愛する会
「しろやま俱楽部」
四日市市立三重西小学校

未来の子どもたちへ

「しろやま俱楽部」はモウソウチクに覆われた『しろやま』を前に、かつての豊かな自然を取り戻したいと、現存の木々は保全したまま、枯れ木を整理してきました。

一度荒れてしまつた里山を元の姿に戻すまでは多くの人手がかかり、時間もかかりてしまいます。それでも未来を担う子どもたちや地域の人々に森林や環境への理解を深めてもらうことで、身近な自然、身近な里山を地域みんなで守つていきたいと活動を続けてきました。

学校や地域の公民館などで門松づくりなどの工作教室をしたり、お祭りに出演しては竹炭を配ったり、地域の方々とのかかわりに多くの時間をかけてきました。そして、今までに約7000個の球根を植え、1500本ほどの植樹もして緑を増やしてきました。その甲斐あって、近頃では四季の花が『しろやま』を彩るようになり、訪れる人の目を楽しませてくれます。



環境学習推進員
大橋京子が
担当しました!

活動レポートVol.15

夏休みこども環境講座 牛乳パック望遠鏡作り&星空観望会

平成28年8月20日(土)



光害(ひかりがい)とは?

- ①光が当らないことによる害
- ②日光が当たりすぎることによる害
- ③必要以上の光による害

正解は③必要以上の光による害

光害は必要以上の屋外照明やネオンなどの光による障害のことで、星が見にくくなるだけではなく、夜寝られない、無駄な電気が使われCO₂が出るといったことが起きています。そのほか、夜行性の動物が活動できない、ウミガメが海に戻れないといったことも起こっています。

夏休みこども環境講座は小・中学生を対象に、工作や体験講座などを8回実施しています。今回は、その1つをセンター主催の指導者養成講座『みえ星空環境案内人養成講座』を受講した方に担当していただきました。講座のはじめは、都市部の光や屋外照明などが夜空を必要以上に明るく照らすことによる「光害(ひかりがい)」についてと望遠鏡の材料となる牛乳パックのリサイクルの現状、望遠鏡のしくみについてお話をされました。

望遠鏡は、筒に焦点距離の長いレンズ(対物レンズ)と焦点距離の短いレンズ(接眼レンズ)を組み合わせて、遠くのものを拡大して見せています。今回は、凸レンズ2枚を組み合せて、見たいものが上下左右、逆さまに見えるケプラー式望遠鏡の作り方を指導していました。

材料の牛乳パックは、注ぎ口と底を切り落として筒状にし、その中に、一回り小さくした牛乳パックを入れます。それにレンズを付けるのですが、細かい作業が多いので保護者の方に手伝ってもらしながら、完成させました。子どもたちは、できた望遠鏡をのぞいて「逆さまに見える!」と感動していました。

工作のあとは、実際に夏の星空観望会です。星を手作り望遠鏡で見るのは倍率的に難しいので、みえ星空環境案内人養成講座の受講生4人に天体望遠鏡を用意していただき、さそり座のアンタレス、火星、土星、夏の大三角などを見せていただきました。また、隣の市で花火大会をしていました。

指導者養成講座「みえ星空環境案内人養成講座」を受講した方の中には、個人での活動だけでなく、観望会や天文工作講座など各地の催しで活躍されている方がたくさんいます。この講座は、星の基本的な活動から望遠鏡の使い方などの実習もありますので、興味のある方ならどなたでも参加できます。今年度も冬に開催を予定していますので、星空を見ることから環境について考えてみませんか?

【報告 環境学習推進員 大橋京子】

みえ星空環境案内人養成講座

星と人と環境のかけ橋になる指導者を養成する連続講座です。講座を通して「星空案内人(星のソムリエ*)」の認定も目指すことができます。

時期 平成29年1月~3月に全4回

募集人員 30人程度

対象 18歳以上の方または天文関連の部活動をしている高校生

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel(059)329-2000までお問い合わせください。お申込みは原則、希望日の1か月前までにお願いします。

「夏のエコフェア2016」開催報告♪

7月23日(土)・24日(日)に2会場で開催した、「夏のエコフェア2016」。

第1会場の鈴鹿山麓リサーチパーク会場では3,900名、第2会場の四日市大学会場(24日のみ)では460名、あわせて約4,360名の方にご来場いただきました。

ご来場のみなさま、ご出展・ご協賛・ご協力いただきました団体・企業・学校のみなさま、ありがとうございました!



「夏のエコフェア2016」や出展団体・企業については
▼▼こちら▼▼

<http://www.azuma-mie.co.jp/ecofair2016>

企画展示

開館時間内 観覧無料

報告 6・7月 なたね通信
『四日市の川を水中からみてみよう』

四日市市内の川で暮らすたくさんの生きものを水中撮影した映像や写真などを展示していただきました。来館されたお子様から「ぼくも飼ってみたい!」とのコメントをいただきました。



8・9月 三重県総合博物館
『みんなでつくろう!ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑』

三重県総合博物館の敷地にあるミュージアムフィールドの昆虫調査について紹介していただきました。実物標本や拡大写真で細かなどころまで観察することができました。



予定 10・11月 滝村保人氏
『木の実で作る作品展』

ヤシャブシや松ぼっくりなどの木の実を使って作ったスズメの作品を展示していただきます。表情豊かなスズメたちが今にも動き出しそうな、生き生きした作品です。お楽しみに!



※展示期間や展示内容は変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

「秋のキッズエコフェア」を開催します!

春に引き続き、秋にも楽しくエコを学べるイベントを開催します。移動型プラネタリウムによる秋の星空上映や三重県産木材を使ったポールプールなどのブースも出展。飲食ブースもあるので、マイ箸・マイスプーンを持って遊びに来てくださいね♪

<秋のキッズエコフェア>

日時: 9月25日(日) 10:00~15:00 (雨天決行)

場所: 三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)

参加費: 無料 ※飲食ブースや一部ブースで材料費など有料

開催!『秋のワクワクふれあいまつり』

四日市市の桜・水沢地区にある四日市スポーツランド、四日市市ふれあい牧場、四日市市少年自然の家と三重県環境学習情報センターが合同で『秋のワクワクふれあいまつり』を **9月24日(土)・25日(日)**に開催! 当日は両日とも、各施設間をつなぐ無料のループバスを運行しますよ!

詳しくはこちら!

ワクふれブログ <http://wakufure.sblo.jp/>

「夏のエコフェア2016」で センター受講生がブース出展しました

鈴鹿山麓リサーチパーク会場では、『環境学習サポート制度』に登録してくださっている4名のメンバーが、貝がらストラップ作りを、子ども達に優しく指導してくれました。

四日市大学会場では、『みえ星空環境案内人養成講座』の受講生7名が、星たまごプラネタリウムのなかで夏の夜空に輝く星座などをわかりやすく解説してくれました。



どちらのブースも盛況でしたよ♪
受講生のみなさま、ありがとうございました!

『環境学習サポート制度』について詳しくは
<http://www.eco-mie.com/intro/support/index.html>

講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます

学校の先生の場合

地域活動団体の場合

自治体の場合

2～3時間の研修に
ご利用ください。
メンバーのレベルアップ
市町での環境活動を
ご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください

環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座

会場:サン・ワーク津(津市)

ESD入門～持続可能な社会をめざして～

開催日	12月4日(日) 開催	締切	11月8日(火)
内 容	◇ESDとは(講義) ◇参加体験型プログラムで持続可能な社会について考える。		

ESDアクティビティ体験コース

開催日	平成29年1月8日(日) 開催	締切	12月6日(火)
内 容	◇自然界におけるさまざまなつながりに気づく。 ◇自己がどのように地域社会や世界とつながっているか理解する。		

ESDファシリテーター養成コース

開催日	①平成29年2月25日(土) ②3月4日(土) ③3月25日(土) 開催	締切	平成29年1月24日(火)
内 容	◇持続可能な開発のための原則をおさえ、環境学習に取り組む目的を確認する。 ◇流れのあるプログラムを体験し、手法やファシリテーションについて学ぶ。 ◇プログラムづくりの過程を学び、環境学習のビジョンを達成するプログラムをつくる。		

スキルアップ講座 三重のウミガメたち
～浜歩きから見えてきたこと～

会 場	三重県総合文化センター(津市)	締 切	10月18日(火)
内 容	ウミガメの分布や生態、三重県でのアカウミガメの過去からの産卵状況、 ウミガメをめぐる問題点などについてお話ししていただきます。		

スキルアップ講座 生態学シリーズ「動物の行動」

③12月3日(土) ④平成29年2月4日(土)全4回開催
(※第1回、第2回は終了しました。)

会 場	③三重県総合博物館(津市) ④三重県総合文化センター(津市)	締 切	11月2日(火) ※④はチラシ参照
内 容	③利他行動 ④オスとメス 生態学に関する内容をわかりやすくお話ししていただきます。		

スキルアップ講座 環境県民講座「伊勢湾の再生を考える」

①12月10日(土) ②平成29年1月21日(土)開催

会 場	三重県総合博物館(津市)	締 切	①11月15日(火) ※②はチラシ参照
内 容	伊勢湾の現状を知り、我々はどう行動すべきなのか考えていきます。 ①海ごみ問題を考えよう ②伊勢湾の貧酸素水塊の未来予測		

環境学習指導者養成講座 プロジェクト・ワイルドエデュケーター養成講習会

11月13日(日)開催

会 場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締 切	10月11日(火)
内 容	野生动物を中心とした環境教育プログラムの指導者養成講習会です。 修了するとプロジェクト・ワイルドエデュケーターに認定されます。 テキスト代6,500円必要(登録料を含む)		

環境学習指導者養成講座 野鳥案内人講座(基礎)

- ①(基礎・秋) 11月27日(日) ②(基礎・冬) 12月11日(日)
③(基礎・春) 平成29年3月12日(日) 全3回 開催

会 場	①三重県総合文化センター、ミュージアムフィールド と周辺のため池(津市) ※②③はHP参照	締 切	①10月25日(火) ※②③はHP参照
内 容	野鳥を通して自然の多様性・循環・つながり・恵みを伝えられる「野鳥案内人」をめざす講座です。異なる季節・場所の野鳥で経験を積みます。(各講座別に申込み可能)		

環境講座 冬のバードウォッチング

平成29年1月15日(日)開催 申込先:三重県上野森林公園

会 場	三重県上野森林公園(伊賀市)	申込期間	12月1日(木)～ 12月27日(火)先着順
内 容	エナガやシジュウカラ、メジロ、コゲラ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミなどに出会えるかも知れません。ため池では色とりどりのカモたちが、水面で休憩している姿が見られます。		

環境工房 アオヅルを使った籠つくり

12月3日(土)開催

会 場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締 切	11月8日(火)
内 容	自然環境からアオヅルのお話とアオヅルの特性を活かした籠をつくります。 センター周辺のアオヅルが自生する場所に行って観察もします。		

かんきょう工作 あそべるたいむ

毎月第2日曜日 13:30～15:30開催

会 場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締 切	申込不要
内 容	【10月】木の実つり 【11月】くるくるメリー 【12月】松ぼっくりツリー 【1月】どんぐりゴマ 【2月】木の実でつくるおひなさま 【3月】トイレットペーパー楽器		

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越しください

 Facebook  @eco_zou

